

リアクション ～第7回 公的扶助 (6/1) 分～

69 件の回答があり、質問が 1 件 (うち非公開 0 件)、感想・メッセージが 19 件 (うち非公開 10 件)、授業に対する要望が 1 件ありました。以下に主な質問・感想への回答をしておきます。

(質問)

・保護受給の要件の理解が難しかったです。

→ 保護受給に要件としては、①申請が必要なこと、②最低限度の生活水準を保障するものであること、③要保護者のもっている金品や物品で満たすことのできない不足分を補う形になること (保護の補足性)、④世帯単位での受給であること、になります。これを原則として、個別のケースを判断していくことになるのですが、その線引きは時代背景によって変化します (例えば、エアコンの保有の可否など)。感想・メッセージ欄にも書きましたが、税金が使われている以上、公平性や必然性が求められますし、不正受給も防止しなければなりません。しかし一方では生活に困窮している人を救う手立てでもあるので、捕捉率 (下記参照) を上げることも大切です。生活保護制度の運用には様々な課題もありますので、機会があれば話題提供をしたいと思います。

(感想・メッセージ)

・お金を給付してもらうには、様々な条件が満たされていなければいけないと分かりました。

→ 生活保護の原資は、私たち国民が納めている税金です。生活保護に限ったことではありませんが、税金は私たち国民が納得した形で使われるのが理想です。そこには公平性や必然性が求められますので、資力調査 (ミーンズテスト) という極めて厳しい調査が行われます。そうした調査が嫌であえて生活保護を利用しない人がいることも事実です。不正受給は許されませんが、生活保護を本当に必要としている人にきちんと届け、再び経済的に自立した生活を送れるように支援することが求められています。

・生活保護を母が過去に受けていた事があって、自分も一時期その環境下で暮らしていたので改めて知る事ができてよかった。

・生活保護いつか、取ろうと思いました。

→ 生活保護を受給しなければならないということは、日々の生活に困るような極めて苦しい状況に置かれているということになります。そのような状況に陥る前に、社会保険制度や生活困窮者自立支援制度などを活用して、生活を安定させられるようにしたいものです。

・説明がわかりやすく公的扶助について理解できたし、生活保護の仕組みについて理解できた。

・よくわかった。

→ 生活保護制度は、私たちの生活を支える「最後のセーフティネット」です。「捕捉率 (ほそくりつ)」という言葉があります。これは、生活保護基準を下回る経済状態の世帯のうち、現実に生活保護を利用している割合のことです。つまり、セーフティネット (安全網) である生活保護制度が、その対象になりうる世帯をどれくらいキャッチしているか、という意味です。厚生労働省の推計では、捕捉率は所得だけで判定すると 1~2 割、資産を考慮しても 2~3 割にとどまります。残りの 7~8 割は、とても貧しい生活水準に置かれていながら、生活保護を利用できていないわけです。憲法 25 条の定める生存権 (健康で文化的な最低限度の生活を営む権利) の保障が行き届いていないと言わざるを得ない状況にあることも知っておいてください。

・生活保護の原理や原則、保護の種類がたくさんあり難しかった。

・種類が多くて難しいけど理解できるように頑張りたいです。

・今回の内容は少し難しく感じました…。

→ 時間の関係で保護の種類について詳しく説明することができませんでした。また機会があれば説明を加えたいと思います。専門的なことが増えて難しくなってきましたが、分からないことを放っておかず、その時々で解決していきましょう。

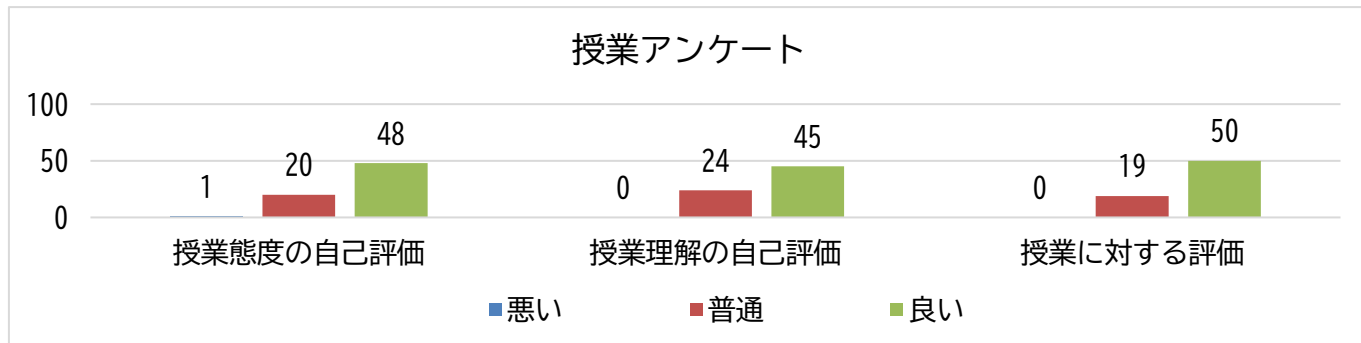
・記入漏れが多かった。

→ 今回の授業では、レジュメに書き込む (スライドを書き写す) 箇所を複数作りましたが、記入時間を十分とれませんでした。Classroom にスライド資料のデータを置いてありますので、記入漏れの部分はそれを参照してもらえればと思います。

(授業への要望)

※過去のコメントペーパーの問題の答えがわかるようにしてほしい。

→ 確認テストの答えのことでしょうか? 毎回の確認テストの問題と正答は、下記のようにリアクションに記載していますので、それを参照してください (自分の解答結果については、Google フォームを送信後に結果が返信されていると思います)。



（確認テストの正答）

問1. 公的扶助とは、健康で文化的な最低限度の生活を維持することができない(①)に対して、(②)がその責任において、(③)を使って助けることである。空欄①～③に当てはまる適切な語句を選びなさい。

→ ①生活困窮者、②国家、③税金

問2. 「生活保護の4原理」を次の語句からすべて選びなさい。

→ 保護の補足性、最低生活保障、国家責任、無差別平等（順不同）

問3. 「生活保護の4原則」を次の語句からすべて選びなさい。

→ 基準及び程度、世帯単位、申請保護、必要即応（順不同）

問4. 「生活保護の種類」のうち、現物で給付されるものを次の語句からすべて選びなさい。

→ 医療扶助、介護扶助（順不同）

問5. 生活困窮者自立支援制度が用意している次の6つの事業のうち、実施主体が必ず実施しなければならない必須事業を2つ選びなさい。

→ 自立相談支援事業、住居確保給付金の支給（順不同）